

FDC 関連年表

(ワク内数字は月、日)

年代	FDC	JTC	尾州産地の動き	繊維業界等の動き
昭和55年-1980/ まだら景気	・地場産業振興センター(ファッションセンター)設立の動き		2.イースタンストップに出展、(尾西毛工=55、56年) ・設備共同廃棄事業継続で織機買上(尾西毛工:681台)	・綿紡績、不況カルテル ・ダイエー1兆円企業達成 ・愛知県地場産業総合振興対策のスタート ・サイロスパン開発(CSIRO)
昭和56年-1981	5.12.愛知県繊維振興協会設立(愛知県織物研究会、愛知繊維研究会の合併) 10.19.「尾張地方繊維対策推進期成同盟会」を「尾張地方地場産業振興センター建設推進協議会」と名称変更 ・地場産業振興センター制度で国の補助(2億円)決定		10.毛糸定期市場暴騰(2,549円/キロ)、毛工連、沈静化のため活発な運動展開 10.ニューヨーク展出展(56年～) ・紡毛織物需要上昇へ ・秋冬物で天然繊維見直し気配 ・DCブームに対応して一部企業業績向上	・JFF第1回ニューヨーク展 ・愛知県地場産業総合振興事業補助 ・愛知県繊維ファッション化指針の作成
昭和57年-1982	7.19.「財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター」設立発起人会開催 8.7.財団法人の設立許可 ・FDCの起工式		11.尾張繊維技術センター用地拡張 ・日本毛紡織産業訪中 ・ウールコート売れ行き好調	12.日米新繊維協定調印 ・デザイナーブランドブーム
昭和58年-1983	12.20.FDC竣工 ・ファッション振興事業の一部開始(テキスタイルトレンド予測、内外情報収集・提供、地場産品常設展示普及事業ほか) ・第1回地場産フェア参加(東京)		4.織機登録制度存続運動を毛工連はじめ業界を上げて展開 ・産地で革新織機導入活発化	・ウールフィーバー
昭和59年-1984	2.13.FDC開館 ・事業本格開始(ファッション振興事業=情報収集・提供事業、展示プロモーション事業、人材育成支援事業、地域交流事業) ・第2回地場産フェア(京都)		3.と9の2回、新鋭織維機器展開催(尾張繊維技術センター) ・IWTO年次総会、東京で開催、産地から多数参加 ・尾西毛工、「組合のビジョン」策定	・短繊維ブーム
昭和60年-1985/ 円相場高騰	・手染教室の他に手織教室開講 ・トレンド展と新鋭織維機器展併催		7.愛知県尾張西部浄水場通水式 10.第三回新鋭織維機器展/尾張繊維技術センター新館完成 ・紡毛糸生産高、戦後最高を記録 ・この年、原糸盗難相次ぐ	9.プラザ合意(日米英仏西独:G5)

年代	FDC	JTC	尾州産地の動き	繊維業界等の動き
昭和61年-1986 平成景気	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮市受託事業開始(欧州ファッション情報展示・説明会(S61~H4)) (英国イースト・セントラル・スタジオ社(S61~S63)) ・手織・手染教室作品発表展示会 		<ul style="list-style-type: none"> 2.毛工連、日本毛整理協会取引改善懇談会 ・細番手人気、糸価堅調 	<ul style="list-style-type: none"> ・燃糸工連汚職事件 ・繊維貿易7年ぶり入超 ・通産省『生活ルネッサンス』提唱
昭和62年-1987	<ul style="list-style-type: none"> ・地場製品販売促進展示開始 ・中部縦断5県地場産業フェアへ出展 ・パンフ「テキスポリス21」作成、配布 		<ul style="list-style-type: none"> 1.売上税反対運動展開 5.ナゴヤファッション協会設立 ・細番手人気が持続 ・紳士服需要拡大で、紳士機屋好調 	<ul style="list-style-type: none"> 10.株式市場暴落(ブラックマンデー) ・輸入が100億ドル突破、入超額は34億ドルを記録 ・郊外型専門店増加
昭和63年-1988	<ul style="list-style-type: none"> ・インポートメンズファブリック展開始 ・第4回新鋭繊維機器展(尾張繊維技術センター) 		<ul style="list-style-type: none"> ・尾州産地、高収益企業続出 ・輸入増大で、産地景気後半から失速気配 ・第8回ニューヨーク展(香港展は中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニット製品、輸入が国内生産を上回る
平成元年-1989/ 冷戦終結	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州ファッション情報の展示・提供(イタリアのデザイナー・マリアグラツィア女史/H1~2) 		<ul style="list-style-type: none"> ・クールウールの開発進む ・天然繊維ブームの勢い無くなる ・ソフトスーツ流行 	<ul style="list-style-type: none"> ・7.世界デザイン博覧会開幕 10.大阪国際繊維機械展(OTEMAS) 11.ワールド・ファッション・フェア ・消費税スタート(3%)
平成2年-1990/ 円安進行	<ul style="list-style-type: none"> ・地場製品の即売開始 ・テキスタイル情報DB化システム着手 ・ブルミエールビジョン緊急報告セミナー開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターナショナル・ファッション&テキスタイル・ウィーク'91(FATEX'91)」開催準備委員会発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・新世代ウール開発 ・国際モヘア会議に産地から参加 ・豪州羊毛在庫増大でACが買い上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・IWSがジャバンウールフェア開催
平成3年-1991/ バブル経済崩壊	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州ファッション情報展示・提供(フランスのサッシャ・バッシュ社(H3~4)) ・新世代ウール展(H3~5・IWS協力) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「FATEX'91(一宮市制70周年記念事業)」開催(テキスタイルコンテスト:6カ国1,411点応募、バリファッションファンタジー:オリビエ・ラビドス/ハナエ・モリによるファッションショー) ・昭和26年スタートの「全国織物競技大会」(39回)休止 	<ul style="list-style-type: none"> 6.「毛織のメッカ尾州一尾西毛織工業90年のあゆみ」中部経済新聞社に6ヶ月に亘り連載 ・新合繊ブーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維業界の海外生産(中国、ベトナム等)活発化 ・インポートブランドの失速
平成4年-1992/ 平成不況	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州ファッション情報を展示・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「FATEX'91」を「ジャパン・テキスタイル・コンベンション(JTC)」と改称(招聘メジン:ルコアネ・エマン/ファッションシンポジウム/ファッショントゥモロー等) 	<ul style="list-style-type: none"> 1.設備登録制度全廃を議決(尾西毛工総代会) ・繊維工業構造改善事業スタート(ツシマウール=4~5年、津島毛工4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業界不況色に包まれる ・中国からのアパレル製品輸入急増 ・ファッション産業人材育成機構発足

年 代	FDC	JTC	尾州産地の動き	繊維業界等の動き
平成5年-1993	<ul style="list-style-type: none"> ・開館10周年記念事業(記念講演(ダイヤモンド社会長川島譲)、記念セミナー(山本寛斎)) ・地域産業育成支援事業開始(10億円基金運用・H5～H15)(ファブリック開発、情報ネットワーク化、アパレル・マーケット情報収集提供、「ザ・尾州」創刊(H5～H14)等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'93」(招聘メゾン:ピエール・バルマン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合素材ブーム ・織機登録制廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 10.大阪繊維機械展 12.ガット・ウルグアイラウンド最終決着 ・アパレル人材育成産学協議会発足 ・円高一段と進む ・業界一段と不況
平成6年-1994	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザイナー提携による製品化とミニショー開始 ・アパレル収集・展示(FDCアパテックス) ・FDCテキスタイルDB確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'94」(招聘メゾン:ニナリッチ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・形状記憶等機能素材の開発相次ぐ ・夏の水不足で染色整理がピンチ 	<ul style="list-style-type: none"> 4.IWSウールマーク有料化発表 11.尾州フォーラム開催 ・為替相場一時100円割る ・繊維の中国投資283件349億円 ・テックスビジョンミカワ開催(6年～)
平成7年-1995/ 阪神淡路大震災/ パソコンブーム	<ul style="list-style-type: none"> ・「テキスタイルプランナー協議会」発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'95」(招聘メゾン:ギ・ラロッシュ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・産地で震災地支援の動き盛り上がる 	<ul style="list-style-type: none"> 1.WTO繊維協定発効 9.繊維産業革新基盤整備事業(TIIP事業)実施 ・繊維の中国投資255件455億円 ・PL法施行
平成8年-1996/ 不良債権	<ul style="list-style-type: none"> ・「繊維産業革新基盤整備事業(TIIP事業)」の実証実験・参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'96」(招聘メゾン:エマニュエル・ウングロ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野進出等事業(尾西毛工) 	
平成9年-1997	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション情報「TeFIAネットワーク」で各種情報の収集・提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'97」(招聘メゾン:ハナエ・モリ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税率引き上げに伴う消費不振で受注減 	<ul style="list-style-type: none"> 7.香港返還 12.日本綿スフ織工組連迂回輸入防止とTSG発動条件緩和を通産省へ要望
平成10年-1998	<ul style="list-style-type: none"> ・12.「ファッション・テクノ工房」開設(HP開設) ・ファッション映像情報(INN)提供開始 ・ジャパン・クリエーション(JC)'99出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'98」(招聘メゾン:パコ・ラバヌノ/優秀作品展に「サロン・ド・JTC」新設) 	<ul style="list-style-type: none"> 7.IWS、ザ・ウール・マークカンパニーに名称変更 ・倒産、廃業相次ぐ(2年間に業者数織物関係で13%、染色整理関係33%減少) 	<ul style="list-style-type: none"> 1.第1回JC開催/12.第2回開催 4.金融ビッグバン/愛知県商工部繊維雑貨課を機械繊維産業課と改称 12.ファッション産業21世紀委員会、民間ビジョン発表
平成11年-1999/ 婦人服専門店「エゴイスト」(カリスマ店員)	<ul style="list-style-type: none"> ・「テキスタイル・プランナー協議会」に3研究会開設/相談業務(週1回) ・パリ・メゾンのデザイナー、尾州素材でオートクチュールを製作・展示 ・インターstoff・アジア'99秋(香港展)初出展(H11～12) ・熟練者向けセミナー開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC'99」(招聘メゾン:ジャン・ルイ・ジェレル) 		<ul style="list-style-type: none"> 5.(財)日本ファッション協会、(財)日本アパレル産業協会、(財)ファッション産業人材育成機構により「ファッションビジネス競争力フォーラム」創設 12.第3回JC

年 代	FDC	JTC	尾州産地の動き	繊維業界等の動き
平成12年-2000/ IT革命/ 「ユニクロ」の ブリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業間連携による素材開発推進(2グループで複合素材を試作) ・トレンドファブリック収蔵展開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC2000」(招聘メゾン:ルイ・フェロー/JTCミレニアム展) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛製男子外衣輸入1,698着、女子外衣輸入1,580万着に 	<ul style="list-style-type: none"> 4.愛知県組織再編(商工部→産業労働部、機械繊維産業課→新産業振興課内繊維生活産業室) 12.第4回JC ・アパレル業界も中国進出
平成13年-2001	<ul style="list-style-type: none"> ・JC2002出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC2001」(招聘メゾン:ハナエ・モリ/20世紀オートクチュールデザイナーズ展(一宮市制80周年記念事業)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーツの輸入千万着を超え1,017着に 	<ul style="list-style-type: none"> 1.省庁再編成(通商産業省→経済産業省、中部通産局→中部経済産業局)
平成14年-2002	<ul style="list-style-type: none"> 4.JTCへの参画と事務局をFDCに設置 10.第1回尾州テキスタイル・エキシビジョン開催(“尾州TEX”:FDCコレクション/JTCコンテスト優秀作品展/ユーロトレンドパネル展を併催) 11.FDC改革小委員会意見書提出、事業の見直しへ 12.JC2003出展(JTCユーロチーム開発素材) ・「産地活性化のための青年の集い」(業種間連携の集い)開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・JTC事業見直し(コンテスト賞金、審査員等一新・作品海外展示及び内覧会/パリファッションファンタジー休止/ユーロテキスタイルビジョン開始) ・「ジャパン・テキスタイル・コンテスト(JTC)」に改称/新生JTCのスタート 12.パリのエキスポフィル展へ特別展示(エキスポフィル賞及びJTC入賞作品等) 	<ul style="list-style-type: none"> 4.尾州テキスタイルコレクション創設 ・竹繊維など新繊維の開発相次ぐ ・ブルミエール・ヴィジョンに尾州企業が初参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイオン素材開発相次ぐ
平成15年-2003	<ul style="list-style-type: none"> 4.愛知県繊維振興協会事務局をFDCへ/情報誌T&Fリニューアル 5.29.FDC匠ネットワーク結成 6.「創造的テキスタイル・マーケティング講座」開設 8.おやこふれあい教室開設/地場産業、地場産品調査事業 8.11.尾州ブランド研究会発足 11.18.~20.第2回尾州TEX開催(インポートセレクト展/JTCコンテスト優秀作品展/ユーロトレンドパネル展) 12.3.-5.「FDC東京展」をJC2004で開催(JTCユーロプロジェクトチームと匠ネットワーク各開発素材出展) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「JTC2003」開催(第2回尾州TEXにコンテスト優秀作品展示/ユーロトレンドパネル展/エキスポフィル賞及びエキスポフィル特別展示作品選定/内覧会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛工連「産地再生アクションプラン」発表 ・繊維川中自立事業で毛織組合関係4社が認定 ・インターテキスタイル上海に毛織関係6社が単独ブース ・ツイード人気復活 	<ul style="list-style-type: none"> 10.インターテキスタイル上海 ・繊維川中自立事業開始
平成16年-2004	<ul style="list-style-type: none"> 1.FDC改装(常設展示市町村コーナーを整備・拡充等) 1.31.~2.6.開館20周年記念ウィーク事業(記念講演、セミナー、第1回ヤーンフェア〈JY〉開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 2.パリのエキスポフィル展にエキスポフィル賞及びJTC2003入賞作品等を特別展示 		

●(参考:「愛知の繊維」愛知県商工部(平成12年3月)、「毛織のメッカ尾州」(尾西毛工、平成4年)等)